

子ども・子育て施策に係る主要事業(第1期おびひろ子ども未来プラン以降)

(単位:千円)

年度	幼児教育・保育関係	医療・給付事業関係	子育て支援関係	青少年健全育成等
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園就園奨励費の補助単価増額(145,867) ・フッ化物洗口事業の開始(松葉、緑ヶ丘、ひばり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援給付利用者負担の軽減(1,771,690) ⇒低所得者の障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担の無料化 ・子ども手当の創設(2,651,463) ・児童扶養手当の拡充(1,137,004) ⇒父子家庭に対する支援の拡大 		
平成22年度 (6月補正)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間移管した保育所(おひさま、栄)の施設整備補助(40,000) ★依田保育所1・2歳児受入枠の拡充(1,961) ★豊成児童保育センターの改築に向けた実施設計(6,300) ★豊成保育所の改築に向けた用地取得・実施設計等(107,281) 	<ul style="list-style-type: none"> ★中等度難聴児への補聴器購入費の助成(352) 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭等就業・自立支援センターの設置(1,466) ⇒北海道との共同による事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども広場の拡充(720) ⇒新規2校、安全管理員各1名増員
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園就園奨励費の補助単価増額(4,656) ★幼稚園特別支援教育補助の開始(1,000) ★豊成保育所移転改築(310,000) ・児童保育センターの整備 ⇒豊成移転改築87,087、栄実施設計5,300(★)、分室整備(明和、広陽、川西)25,500 ★特別保育事業の拡充 ⇒延長拡大(緑ヶ丘、ひばり、松葉)4,927、乳児拡大(栄3人増)5,903 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当の支給額増額(250,152) ・乳幼児医療給付の拡充(15,292) ⇒非課税世帯の小学生の通院分を全額助成 	<ul style="list-style-type: none"> ★子育て応援事業所登録事業の拡充(150) ⇒子育てサポーター事業の追加 ★特定不妊治療費の助成回数拡充(1,500) ⇒助成回数を年2回から3回に拡充(治療初年度に限る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども広場の拡充(299) ⇒新規2校 ★児童会館施設整備(15,652) ⇒耐震補強実施設計、プラネタリウム操作卓改修等
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ★特別保育事業の拡充 ⇒延長拡大(青葉、豊成、依田)4,769【全認可保育所での実施が実現】、乳児拡大(豊成3名増)4,462、一時拡大(豊成)6,745 ・やまびこ保育所耐震化事業(822) ★公立保育所耐震化事業(169,500) ⇒帯広、青葉、あやめ、ひばり、松葉 ★へき地保育所耐震化事業(7,284) ・児童保育センターの整備 ⇒栄移転改築76,531、分室整備(柏、光南、青葉)18,900 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付・生活支援事業の拡充(138,523) ⇒障害児の通所サービスを一括して市町村で実施 ・子どものための手当制度の見直し(2,558,320) ⇒子ども手当から児童手当に制度変更、所得制限の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ★(仮称)こども発達相談室の設置(300) ・妊婦健康診査事業の継続(117,092) 	<ul style="list-style-type: none"> ★児童会館施設整備(277,500) ⇒耐震補強改修工事
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども・子育て支援新制度関連計画策定(660) ・鉄南保育園改築事業(176,125) ・川西保育所耐震補強工事(27,000) ・児童保育センター耐震化事業(8,456) ⇒青葉、大空、清川の耐震診断及び実施設計 		<ul style="list-style-type: none"> ・こども発達相談室の機能拡充(5,887) ⇒臨床心理士(嘱託職員)の配置等 ・ファミリー・サポートセンター事業の開始(2,500) 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども広場の拡充(828) ⇒新規6校開設により全小学校で開設 ★児童会館リニューアル(27) ⇒科学展示室更新決定
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども・子育て支援事業計画策定(1,581) ⇒計画案作成、道との協議、パブコメ等 ・児童保育センター耐震化事業 ⇒青葉改築96,986、大空移転35,282、清川移転改築54,056 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯臨時特例交付金の給付(213,850) ⇒対象児童1人につき1万円 		<ul style="list-style-type: none"> ★児童会館施設整備事業(5,282) ⇒科学展示品リニューアル ★児童会館50周年記念事業実施(702)
平成26年度 (6月補正)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等処遇改善臨時特例事業(32,336) ★保育環境の充実(3,500) ⇒エアコンの設置(公立10所19部屋、へき地6所6部屋) 			
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園整備事業(79,944) ⇒帯広の森、つつじが丘、ひまわり ・私立保育所運営費の拡充(214,093) ⇒子ども・子育て支援新制度開始による保育単価等の増 ・公立保育所広域入所事業の見直し(1,005) ・へき地保育所整備事業(3,496) ⇒平成26年度末をもって閉所した上帯広保育所の解体 ★児童保育センター整備事業 ⇒第2緑ヶ丘実施設計5,000、青葉外構5,000 ・地域型保育給付の開始 ⇒小規模保育事業所1所、事業所内保育事業所1所 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯臨時特例給付金の給付(83,852) ⇒対象児童1人につき3千円 ・母子家庭等自立支援事業の拡充(300) ⇒高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の実施(受講費用の6割を支給) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業の拡充(1,000) ⇒業務人員体制の拡充 ★家庭教育学級開設50周年記念事業(378) 	

年度	幼児教育・保育関係	医療・給付事業関係	子育て支援関係	青少年健全育成等
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯・ひとり親世帯の保育料負担軽減の拡充(影響額10,450) ⇒多子世帯の保育料第2子半額、第3子以降無償化 ・寡婦控除のみなし適用の実施(影響額1,012) ⇒未婚の母子・父子家庭の保育料に係る寡婦控除の適用 ・認定こども園等施設給付の開始(434,743) ⇒認定こども園4園、施設給付型幼稚園1園 ・へき地保育所管理運営業務の見直し(254,067) ⇒子ども・子育て支援新制度施行に伴う特例給付の開始 ★保育所育休退所制度の廃止(8,810) ⇒低年齢児受入体制確保(公立2所20名程度) ・児童保育センター整備事業(125,034) ⇒第2緑ヶ丘児童保育センター建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度・中等度難聴児補聴器購入費支給事業の拡充(519) ★特定不妊治療費助成事業の見直し(9,075) ⇒負担軽減のため、道の助成制度に上乘せした助成を実施 		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・栄保育園の改築費の支援(159,934) ⇒定員を90名から120名へ拡大 ★あやめ保育所の民間移管に向けた準備(24,940) ⇒派遣保育士人件費補助、施設整備 ・へき地保育所整備事業(2,819) ⇒認可化に向けた施設整備に係る基本調査 ・第2緑ヶ丘児童保育センター供用開始に伴う指定管理委託料の変更(63,451) ★休日保育の利用定員拡大【15名→20名】(すずらん) 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金の支給対象者の拡充(400) ⇒雇用保険法の一般教育訓練給付の支給を受けるひとり親に拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達支援事業の見直し(10,772) ⇒補助員を段階的に廃止(4人⇒3人) ・妊娠・出産サポート事業の実施(3,097) ★特定不妊治療費助成事業の助成内容拡充(825) ★不育症治療費助成事業の開始(500) ★母子栄養食品支給事業の見直し(537) ★ひとり親家庭に対する相談員の増員 ⇒既存の母子・父子自立支援員1名に加え、ひとり親家庭の就業を支援する専門員を1名増員 ★ハローワーク出張窓口の開設 ⇒8月に2日間開設。以降、毎年見直しを実施し、令和元年度は6日開設。 ★ひとり親家庭向けパンフレットの作成、配付 ⇒以降、毎年内容を更新 	<ul style="list-style-type: none"> ★青少年センター事業の見直し(3,086) ⇒業務体制の見直し
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ★待機児童対策事業の見直し(4,294) ・幼稚園就園奨励費の補助上限額引上げ(5,184) ・認定こども園施設運営費の拡充(3,045) ⇒1号認定の子どもの保育料を軽減 ・児童保育センター運営費の拡充(39,773) ⇒柏分室、光南分室、森の里、大空、川西 ★ひばり保育所の民間移管に向けた準備(22,747) ⇒派遣保育士人件費補助、施設整備 ★次期こども未来プランの策定(836) ⇒市民アンケート実施、関係団体との意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の所得制限限度額の引上げ(20,494) ・乳幼児等医療費給付事業の見直し(事業費0) ⇒受給者証適用範囲の拡大(十勝管内→北海道全域) 		
平成30年度 (6月補正)	<ul style="list-style-type: none"> ・ときわの森保育所の改築費の支援(225,616) ⇒定員を90名から120名へ拡大 ・放課後児童支援員キャリアアップ支援事業の開始(7,514) ★へき地保育所整備事業(60,027) ⇒認可化に向けた2所(清川・広野)の施設整備実施等 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援事業(母子保健型)の開始(1,527) 	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育の無償化の実施(168,718) ・認定こども園等施設給付事業の拡充(35,147) ⇒施設型給付に移行した幼稚園(やまざと) ★へき地保育所整備事業(100,544) ⇒認可化に向けた4所(川西・富士・ことぶき・愛国)の施設整備実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支払回数の変更(260,239) ⇒年3回から年6回 ・未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の支給(4,550) ・母子家庭等自立支援事業の拡充 ⇒自立支援教育訓練給付金の拡充(1,000)、高等職業訓練促進給付金の拡充(3,840) 	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども発達支援事業の見直し(999) ⇒ことばの訓練業務を児童発達支援事業所へ移行 ・子育て世代包括支援センター機能の整備(941) ⇒利用者支援事業(基本型)の開始 〃 (母子保健型)と一体的に実施 ・産後ケア事業の拡充(130) ⇒訪問型を新たに実施 	<ul style="list-style-type: none"> ★児童会館管理運営事業の拡充(970) ⇒プラネタリウムの内容見直し、投影回数拡大 ★児童会館施設整備事業(3,240) ⇒和式便器の洋式化(6基)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所運営業務の拡充(347,352) ⇒へき地保育所6所の認可化及び民間移管 ・認定こども園等施設給付事業の拡充(1,187,771) ⇒認定こども園:帯広藤、帯広東、帯広の森分園、施設型給付幼稚園:第一いずみ、帯西、柏林台カトリック ・児童保育センター運営事業の拡充(47,298) ⇒栄分室、第2緑ヶ丘、柏林台分室、若葉、川西 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等日常生活支援事業の拡充(50) ⇒家庭生活支援員の派遣等について、就業上の理由により定期利用できる対象範囲を小学生までの児童を養育する家庭まで拡大 		

※1 表中、★印は市の単独事業。

※2 ()内の金額は事業費及び一般財源の影響額(千円)を示している。なお、本表は、主に市の主要事業から抜粋しているが、一部、主要事業には掲載されていない事業も記載している(事業費等の記載がない事業)。